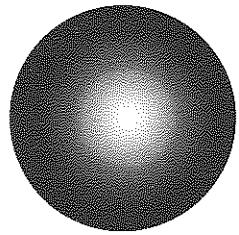


—
21世紀への共創

NAGASAKI YOUNG



GENERATION
ASSOCIATION

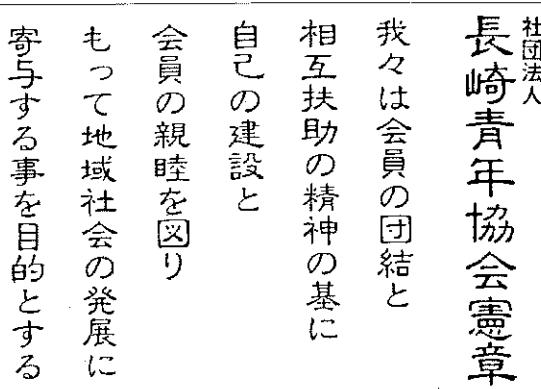


Challenger
1999

社団法人
長崎青年協会

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
会長 伊藤克樹 編集●広報委員長 吉田浩文

6
1999



いきました「日蘭おもしろクイズ なんでんかんでんものしり王者決定戦」の参加賞として、チューリップの球根をお配りしましたが、あまたの球根を三つ持ち帰ったところ、4月には大きなきれいなチューリップの花を三つ咲かせることができました。私は球根を持ち帰っただけで、あの世話は家族がしてくれました。プランターに球根を植え、芽がひとつ出てきた時には子どもと共に喜び、水を毎日やりながらチューリップの変化を見守り、そして、三つのきれいな花が咲いたときには、家の玄関が明るくなつたように感じられました。

本日は、日頃から留守がちの家庭をしっかりとささえていただいている奥様方に、青年協会の例会をそのままのかたちで見ていただく夫婦同伴例会でございます。青年協会をさらにご理解いただき、今後はじめます事業に御主人をこころよく送り出していただきたいと思います。

さて、今年度は外部からの講師講演が予定されていますが、本日は、O.B.でもあります岡村一憲さんに「地球上の生命体」という演題で、生命と環境問題について具体的な話をまじえながらお話ししていただきます。どうか、皆様方の御静聴を宜しくお願い致します。

会長あいさつ



去る5月9日に行われました家族懇親会には、136名という多数の参加をいただき、イチゴ狩りで楽しいひとときを過ごすことができました。

この企画・準備にあたりました交流委員会にあらためて御礼を言いたいと思います。

ところで、昨年の12月にブリックホールにて行

5月夫婦同伴例会

5月夫婦同伴例会



平成11年5月21日、ホテルニュー長崎に於いて夫婦同伴例会が開催された。会場入り口付近には、家族懇親会の写真や会員の家族の写真も掲示されていた。

伊藤会長の挨拶の後、岡村一憲O.B.を講師に招き、「地球上の生命体」についての講演が行なわれた。

岡村O.B.は、長崎「地球村」という会に入り、地球の環境問題（酸性雨、森林伐採、地球の温暖化、オゾン層の破壊、世界人口の増加）や食品添加物を含んでいる食品の、人体に及ぼす影響などを幅広く勉強されている。



当日は、時間の都合上フロンガスによるオゾン層の破壊（オゾン層の破壊によって、地球上の生物に及ぼす影響）、食品添加物が及ぼす人体への影響について、主にお話をお聞きした。私も、新聞、テレビ等では、オゾン層の破壊・フロンガス・環境ホルモンという言葉を耳にするが、今現在の事実として、話を伺ったら背筋がゾーとし



家族懇親会写真 入口に展示



た。私を含め、私の周りではこのような環境問題は、ひとごとのようにまだまだ関心が薄いように感じる。講演の内容を詳しく掲載しようと思ったが、内容が濃く紙面の範囲内で、話された内容をうまくまとめきれない私の頭の悪さを許していただきたい。

しかし、事実を目の前に突きつけられ、私たちの子供、孫の世代は、私たちが生活しているようなライフスタイルでは、とても生活できないのではと暗く、重い気持ちになったが、賢い人類は、「美しい地球」に戻すことを考え、行動するはずである。いや、現に行動を起こしている人々がたくさんいる。機会があれば次回は、現状を見据えた上で「美しい地球」を戻すように、私たち一人一人が、どのように考え、行動すればよいのか、明るい日差しが見えてくるようなお話を聞きしたい。



吉田正幸・一美ご夫妻



河野文彦・寿子ご夫妻



田川俊幸・利恵子ご夫妻



伊藤克樹・玲子ご夫妻



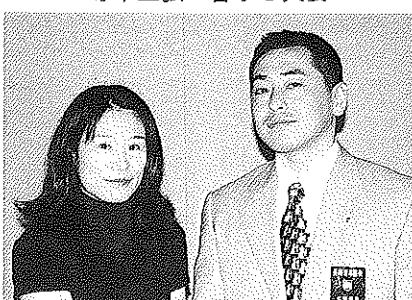
原喜一郎・貴美代ご夫妻



寺本正弘・智子ご夫妻



渋谷晃・史子ご夫妻



広瀬健司・智子ご夫妻



坂上隆弘・由美子ご夫妻

夫婦同伴例会ということで、多くの奥様方にも岡村O Bの講演を聞いていただきたかったが、それぞれみなさん都合があり、出席者が少なかったのが残念であった。しかし、出席された奥様方は、日常の食生活を振り返り、食品添加物をあまり取り過ぎないようにと、実感したのではないだろうか。

最後に、「グリーンコンシューマ（賢い消費者）になって、本当に必要なものを考えながら、地球に優しい買い物をしましょう。それが私たちの子供達の命を守ることなのです。」という言葉で、しめられた。

※7月11日(日)には、「地球村」代表の高木善之氏の講演会が開催されますので、是非、足を運ばれてはいかがでしょうか。

~~~~~家族懇親会 in イチゴ狩り~~~~~

5月9日(日)
交流委員会の想い
が通じたのか、五月晴れの最高の空
の下、琴海町の「峯農園」さんの
イチゴのビニール
ハウスを使い平成
11年度の家族懇親会
「春だ!祭りだ!
何だか知らないけれどお父さん、イ
チゴ狩りしたくなっちゃったね」が行わ
れた。

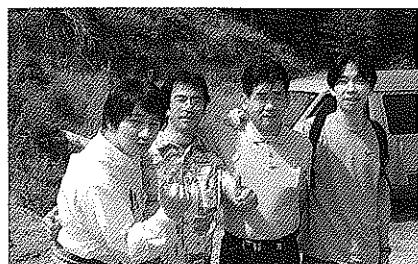
まず、伊藤会長
のあいさつに引き

続き、峯農園の方に正しいイチゴ狩りの仕方をお聞きし、イチゴに対してやさしくやさしくしなければと考えながらビニールハウスの中に入った。中は、予想以上に広く、早速イチゴ狩りに取りかかった。歩いていくと、赤いイチゴ、青いイチゴ、大きいイチゴ、小さいイチゴが、たくさん実っており、

みんな思い思いに
イチゴの収穫に汗
をながしていた。

特にはじめてイチゴが実っているところを見た人も少なくなく、イチゴの花などに感心しながらパックにイチゴを詰めていた。中には、イチゴをパックに入れずに自分の口に入れて味見をしながら「こんイチゴは甘かばい」と叫ぶ人や「やっぱ、青かとはスッパカ~」と顔をしかめながらも一生懸命吟味をしていた。

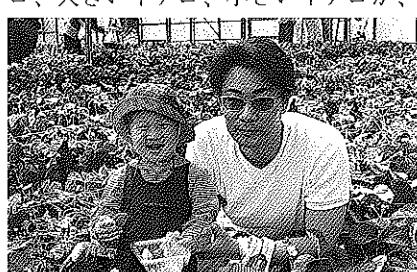
ビニールハウスの中は、気温が高く、イチゴを採りながら歩くと汗が流れて来たが、子供の面倒を見ながら楽しそうにイチゴ狩りをする青年協会の大勢のパパを見ると、事業で見る顔とは違うほのぼのとした表情



独身軍団の面々



おてんとう様がまぶしいぜ!!



ミルクかけるとおいしいですヨ





に思わずシャッターを切る広報委員会であった。

イチゴをパック山盛りに狩った後は、15分ほど歩いたところにある「長崎空港カントリー俱楽部」に到着。昼食の準備ができるまでの間、ホテルの中庭にあるパットパットゴルフで遊ぶ家族や暖かい陽射しに誘われてプールに足までつかって遊ぶ子供達がいた中、プールに誤って落ちた子供を咄嗟に飛び込んで助けた会員もいた。(拍手!!パチパチ!!)

そして、お待ちかねの前日から泊まり込みで作った



委員会特製のシチューとイチゴジャムの登場となった。コクのあるシチューと作りたてでまだ暖かいジャムを食パンに付けて食べるとそれまでの疲れがとれるようだった。

午後からは、子供達による「パットパットゴルフ大会」で仲良く遊んだり、奥様による「腕相撲大会」で盛り上がった時を過ごした。

会員40名、大人39名、子供57名
計136名の参加者による家族懇親会も時間となり終了となつたが、家に帰つてからは、採りたてのイチゴを冷蔵庫に冷やして家族みんなでおいしく食べ、「家族懇親会第2部」を過ごしたことでしょう。

委員会の皆様本当に疲れさまでした。



子供達に大人気の田川(俊)君



シチューおかわり



アームレスリングチャンピオン



ママーがんばれー



冷たくて気持ちいいー



知事・市長 表敬訪問

5月17日、長崎県庁に金子原二郎知事を表敬訪問した。知事からは、青年協会の現状、日蘭交流400周年記念事業への取り組み等の質問があった。

また、20日には、長崎市役所に伊藤一長市長をお訪ねし、稲佐山中腹の「NAGASAKI」の文字建設に対する市長の考え方等のお話があり、いろいろな意見交換を行った。

知事、市長より、青年協会に対して激励の言葉をいただき、またお忙しいお時間をさいていただきありがとうございました。



最終版預約登録の新規登録

卷之八

伊藤会長 長崎新聞「あの人・この人」に登場

5月9日付け長崎新聞の「あの人この人」のコラムに伊藤会長が登場。長崎青年協会を広くアピールした。取材は、事務局で行われ、いろいろな資料を前に熱くインタビューに答えていた。反響も大きく、たくさんの方に見ていただけたと思う。

“話題にダブルクリックVOL.3”(ニュースな言葉)

「バリアフリー」「ノーマライゼーション」

「バリアフリーの建築」「バリアフリーの商品」といった具合に、最近よく目にしたり耳にしたりするようになりました。昨年行われました長野冬季オリンピックが引き金になってか、馴染みのあるものになつたようです。

この「バリアフリー」という言葉、Barrier（障壁）を、Free（取り除く）と直訳できますが、「ノーマライゼーション」という言葉、考え方が前提になっています。さてこの「ノーマライゼーション」とは何なのでしょう？

社会福祉の歴史を見てみると、貧困でかつ身体障害、知的障害、精神障害といった障害のある人々は、障害に応じて施設に隔離されるという形で扱われてきました。つまり社会福祉対象者は、社会的弱者、“劣った人”とみなされて保護されつつ、差別や偏見の対象となっていました。この歴史に問いかけたのが、「ノーマライゼーション」=障害を持つ人も、持たない人も、“誰もが一緒に”という考え方です。

1959年この考え方は、デンマークで法律化され、障害者対策を「特別な法律で規定するのではなく、一般住民に対する法律の中で援助のあり方を規定すべき」とし、その後スウェーデンでも取り入れられ、「すべての知的発達障害者の日常生活を、普通の生活をしている一般市民の生活や条件、環境に近づけること」現在の「ノーマライゼーション」の思想として完成しました。.

日本においては、さまざまな国の影響を受けながら、取り入れられ発展し「ノーマライゼーションのまちづくり」「福祉のまちづくり」そして「バリアフリーのまちづくり」となりました。つまり、「バリアフリー」とは「ノーマライゼーション」の考え方“誰もが一緒に”を実践していく手段方法であって、いかにその実現のために物質と、こころの障壁を取り除くかという意味です。

これを実践していく上ではまだいろんな問題があります。確かにバリアフリーの施設設備は増えました。車椅子対応のトイレ、段差のない建築物、スロープ、エレベーターの整備。ただいかにも設置することだけが目的となり、使われずに放置されているもの、また当事者（障害者）の意向が反映されていないものもあります。

「バリアフリー」「ノーマライゼーション」“誰もが一緒に”という思想を、皆さんのが福祉を考え、また福祉活動をしていく上での参考にしていただければと思います。

お父さんの通知表

第3回目は、石田則広企画推進室長の長女千帆ちゃん(7才)とまきちゃん(5才)のお二人から見たお父さんを採点してもらいました。

「パパについて5点評価で正直に答えてね!!」

	質問	千帆ちゃん	まきちゃん	理由
Q1	一緒に遊んでくれますか?	4	3	遊ぶときは徹底的に遊んでくれる
Q2	家族のみんなにやさしいですか?	5	5	やさしいけど、しかられる
Q3	勉強を教えてくれますか?	2	4	ママから教えてもらう
Q4	カッコイイですか?	4	5	かわいい!!
Q5	よくお話をしますか?	2	4	朝しか会わないから
Q6	お酒、タバコを飲み過ぎませんか?	5	5	全然しない
Q7	家の手伝いをしますか?	3	3	月に1回お掃除くらいかな
Q8	相談にのってくれますか?	5	5	中身は、ナイショ!!
Q9	明るく楽しいですか?	5	5	おもしろい
Q10	ママと仲がいいですか?	3	3	パパはママにいじわるだから
総得点		38	42	2人の平均は4.0点です。
平均点		3.8	4.2	ペリーゲッドです。

浜の町の石田スポーツ店の3階にある石田則広君宅にお邪魔しました。部屋から窓の外を見るとごくふつうのアパートやマンションがある住宅街の中にいるように見えましたが、実際は、長崎の繁華街浜の町のまん中にいるという不思議な風景が見えるお宅でした。最初、奥様と3人のお子さまに出迎えられましたが、3番目の一喜君はまだ1才なので、お姉ちゃん2人からお話を聞ききしたところ、平均4.0点というすばらしい結果となりました。

石田君は、おくんちの練習で、夜、家に帰るのが遅くなっているためお話をする時間がちょっと足らないとのことでしたが、家に居るときには、必ずお子さんといつしょにお風呂に入ったり、つめきり、耳かきをしてあげたりと、時間がある時は、ちゃんとコミュニケーションをとっているとのことでした。

お子さんに対しては、「特別じゃなく普通に育ってくれればいい。普通が一番難しい。」と言われ、遊ぶ時には、徹底的に遊び、しかるときには、徹底的にしかるという石田流の子育ても紹介してもらいました。



最後に千帆ちゃんとまきちゃんからパパに一言
「もっと遊んでほしい。やさしいパパが大好き」
とのことです。

取材に御協力をいただきありがとうございました。

左から 奥様 知子さん
長女 千帆ちゃん
石田 則広くん
長男 一喜くん
次女 まきちゃん

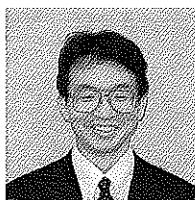
新人紹介～ようこそ長崎青年協会へ～

配属：企画委員会



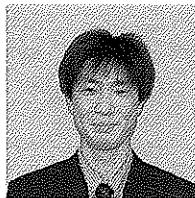
氏名：宮崎健太君
生年月日：昭和42年10月13日
血液型：O型
勤務先：(有)大井酒店
趣味：スポーツ
ニックネーム：ケンタ

配属：交流委員会



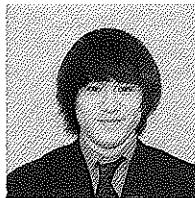
氏名：室谷康二君
生年月日：昭和44年6月3日
血液型：A型
勤務先：三菱重工業㈱長崎造船所
趣味：ふうせんバレー・ボール
ニックネーム：ムロちゃん

配属：特別事業委員会



氏名：泉栄吉君
生年月日：昭和47年2月3日
血液型：A型
勤務先：長崎電建工業
趣味：バドミントン
ニックネーム：エイキチ

配属：例会委員会



氏名：池田賢太郎君
生年月日：昭和52年2月16日
血液型：O型
勤務先：(有)池田海産
趣味：なし
ニックネーム：ケンタロウ

◀ 同好会だより ▶

◎野球同好会／ナイターソフト 1回戦の巻

今年こそは!!の思いを胸に望んだ1回戦。みんなが振り返るお馴染みのユニフォームを身にまとい、初戦突破と意気込んで試合開始。

しかし、1、2回に早くも3点を先制され、打線も相手投手の速球を当てるのが精一杯「あー今年もまたか・・・」だがここからが協会魂。

相手打線を3、4回0点に抑えた後の4回裏、打順も一巡して球も見えてきた協会ナインが大爆発!!ヒット!ヒット!またヒット、

打者一巡の猛攻で6点を取り大逆転。「これで今年は……」と思ったのもつかの間、後半またしても再逆転され「勝負あったか?!」に見えた最終回、2死ランナー2塁において助っ人くんがライトオーバーの2塁打で同点に追いつき、昨年と同じ抽選へ。結果は惜しくも敗北。

でも来年につながる「自信」が「確信」になったナイスゲームでした。



表紙のご紹介 (下段は勤務先)

昭和35年度誕生者
Part II の皆様です

嵩下 恭一君 (有)嵩下不動産 S 35.8.8 (O)	和田 正信君 (株)三京フーズ S 35.8.27 (A)	
田川 俊幸君 (有)明治屋商店 S 35.9.24 (B)	梁瀬 優則君 山村塗装 S 35.10.18 (O)	濱崎 俊哉君 (有)安全タクシー S 35.11.24 (B)
伊藤 克樹君 (有)アクシス・プラザ S 35.12.29 (A)	倉田 和彦君 リトルバー S 36.1.15 (A)	

編・集・後・記

5月例会の岡村先輩の講演を聞いて、なぜか子供の頃を思い出した。それは、食べ物が人体に及ぼす影響の話を聞いてである。私が子供の頃は、汚れた手をズボンで拭くだけで食べ物を平気でつかみ、口の中に入れていた。畑に実っている果物や野菜を取り、洋服で拭くだけで口の中に入れていた。今思えばバッチャイ話だが、病気はしなかった。そういう経験をしてきた親が、我が子には清潔にしなさいと注意する。いつの頃からか、私たちが知らず知らずのうちに見映えがきれいで清潔な物は、体に害は及ばないと決めつけていたように思う。

最近、気が短くなりすぐ頭に血が上りそうになる時がある。これはもしかしたら、子供の時から食べ続けているジャンクフードの影響かもしれない。